

図1-2-17 介護を受けたい場所

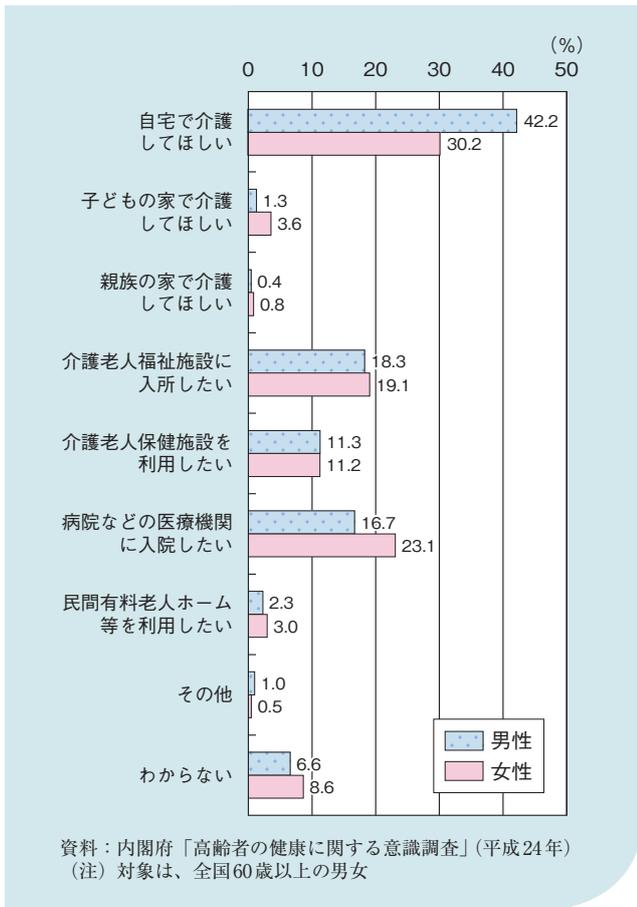
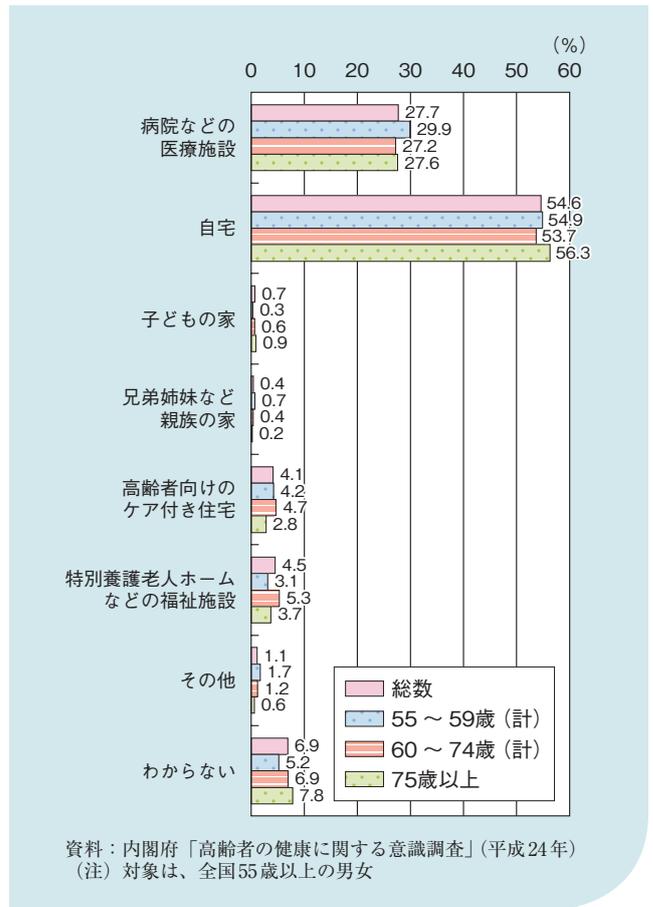


図1-2-18 最期を迎えたい場所

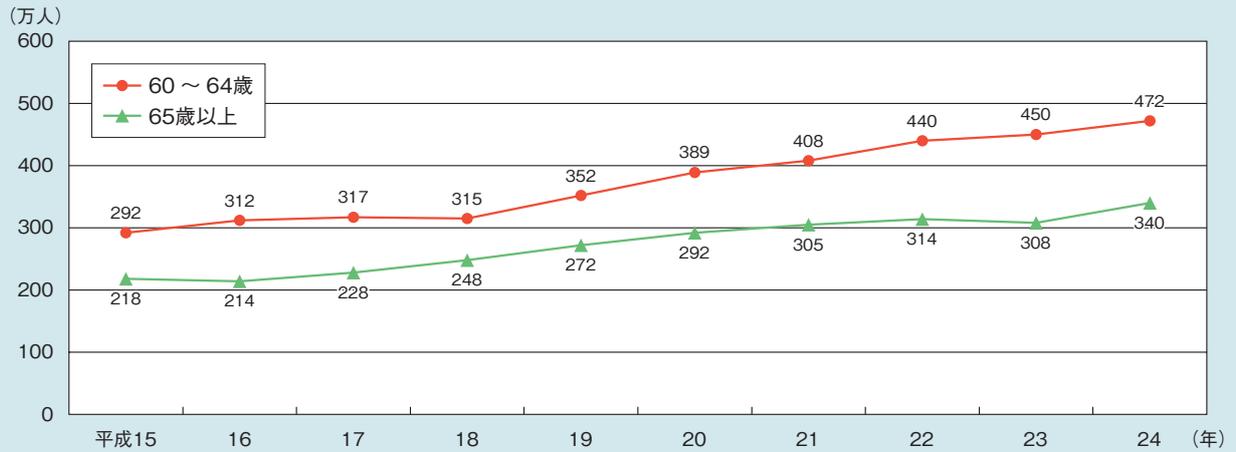


4 高齢者の就業

○高齢者の雇用情勢

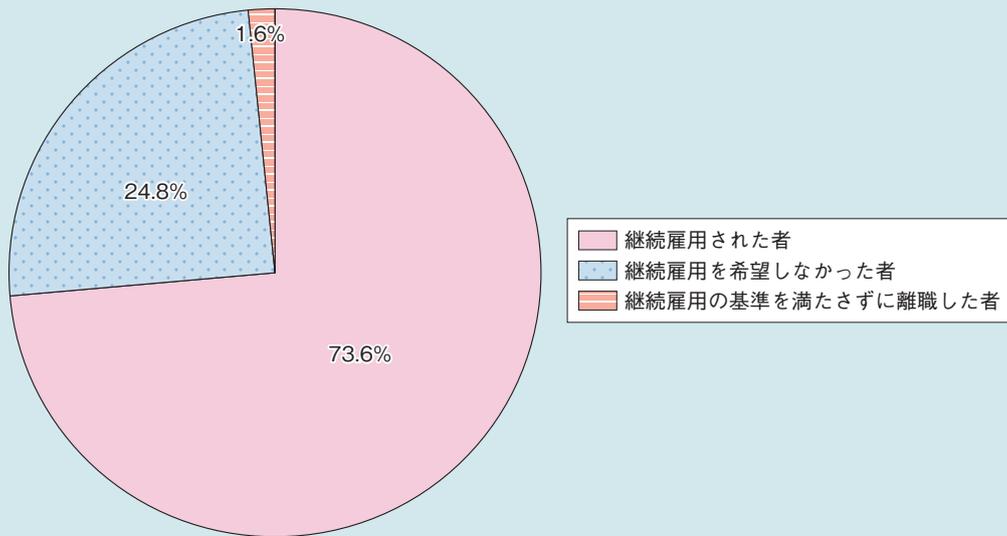
- ・全産業の雇用者数の推移をみると、平成24(2012)年時点で60～64歳の雇用者は472万人、65歳以上の雇用者は340万人となっている(図1-2-19)。
- ・定年到達者の状況をみると、平成24(2012)6月1日時点において、過去1年間の定年到達者のうち、継続雇用された人の割合は73.6%となっている(図1-2-20)。
- ・近年、経済情勢の急速な悪化を受けて完全失業率が上昇していたが、平成23(2011)年以降は低下傾向にある(図1-2-21)。

図1-2-19 雇用者数の推移（全産業）



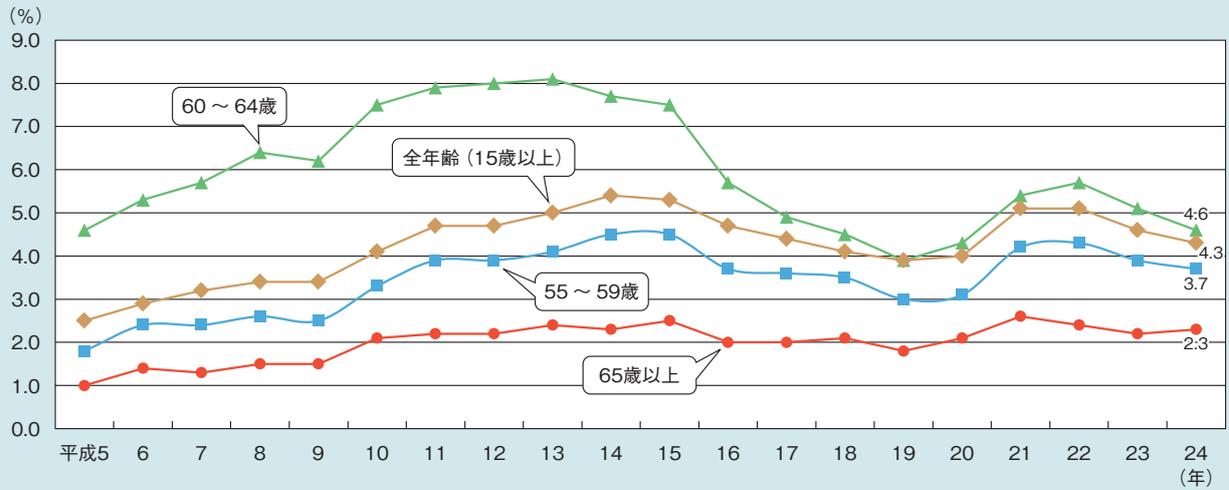
資料：総務省「労働力調査」
 ※平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く44都道府県の集計結果

図1-2-20 定年到達者の状況



資料：厚生労働省「平成24年「高齢者の雇用状況」集計結果」
 ※常用労働者数31人以上規模企業を集計

図1-2-21 完全失業率の推移

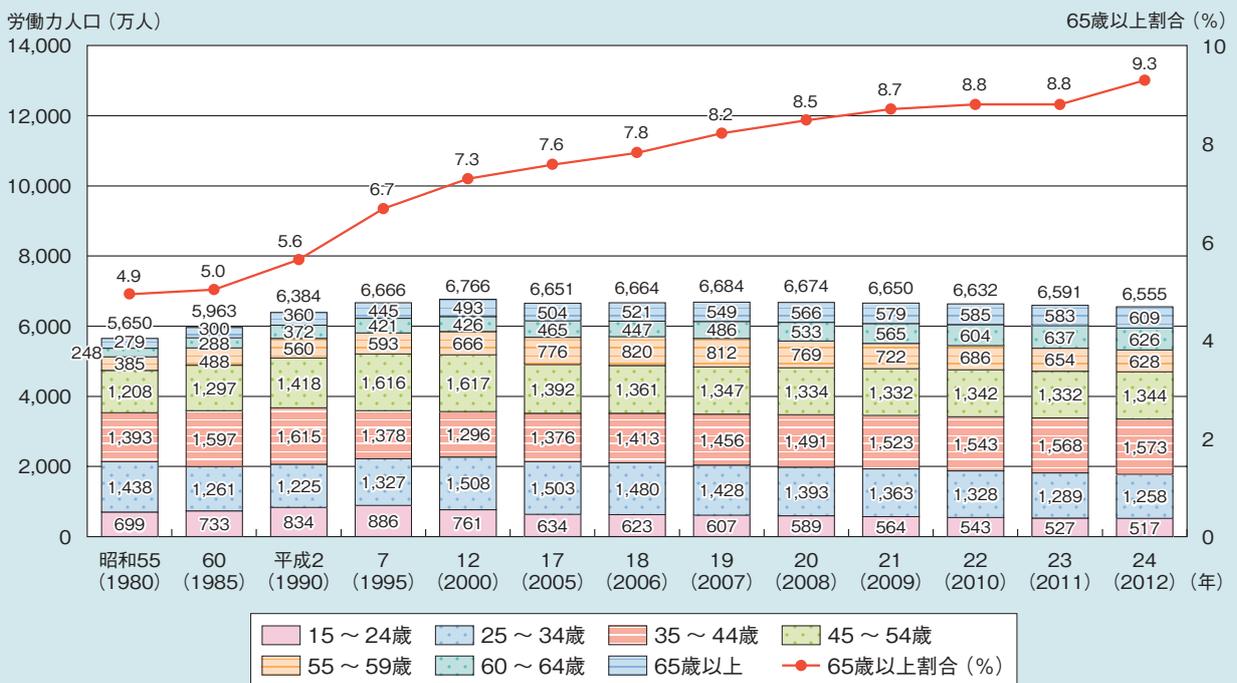


資料：総務省「労働力調査」
 (注) 年平均の値。

○労働力人口総数に占める65歳以上の人の比率は昭和55（1980）年から大きく上昇

- ・平成24（2012）年の労働力人口は、6,555万人であった（図1-2-22）。
- ・労働力人口総数に占める65歳以上の人の比率は9.3%となり、昭和55（1980）年の4.9%から大きく上昇している。

図1-2-22 労働力人口の推移



資料：総務省「労働力調査」(年齢階級 (5歳階級) 別労働力人口及び労働力人口比率) より内閣府作成
 (注) 「労働力人口」とは、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたものをいう。

5 高齢者の社会参加活動

○グループ活動に参加している高齢者は約6割で、今後参加したい高齢者は約7割

- ・60歳以上の高齢者の59.2%は何らかのグループ活動に参加しており、10年前と比べて15.5ポイント増加（図1-2-23）。
- ・今後の参加意向について、「参加したい」（「参加したい」、「参加したいが、事情があって参加できない」と回答した人の計）と考える人は70.3%となっており、過去の調査と比較して増加（図1-2-24）。

図1-2-23 高齢者のグループ活動への参加状況（複数回答）

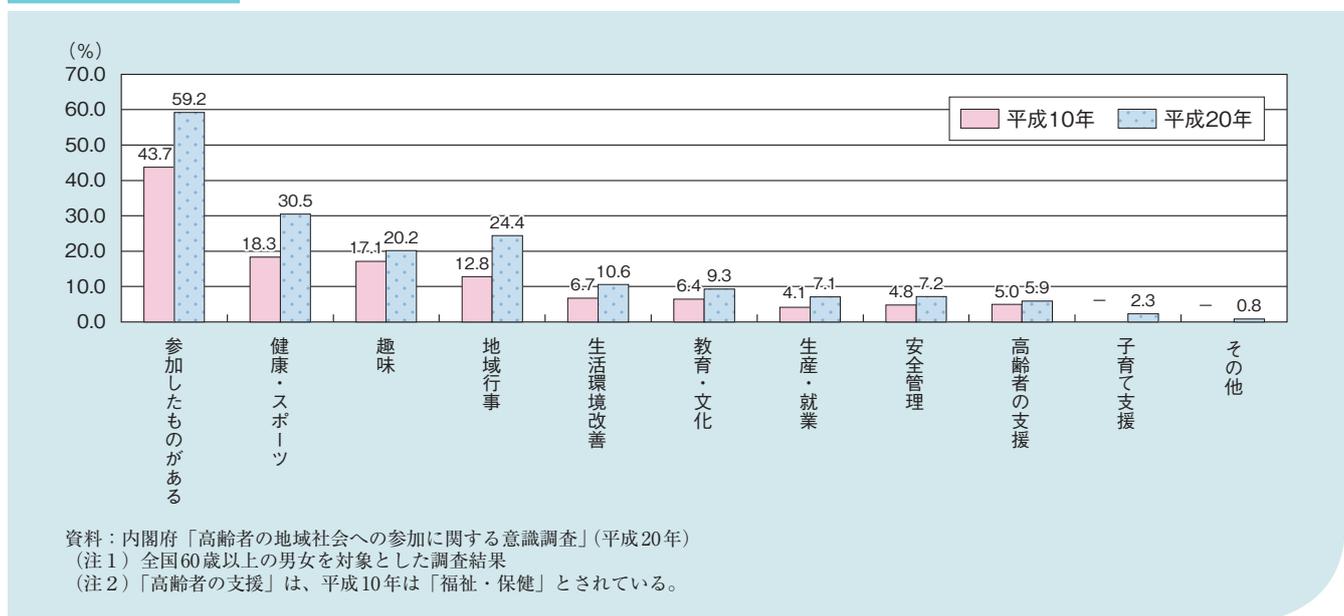
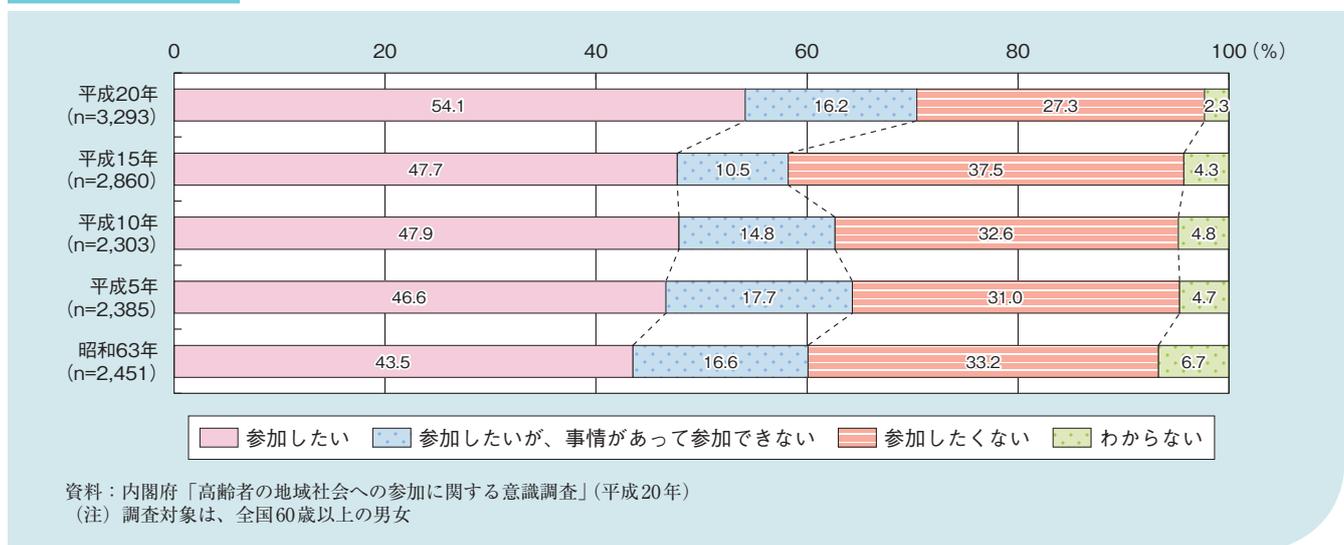


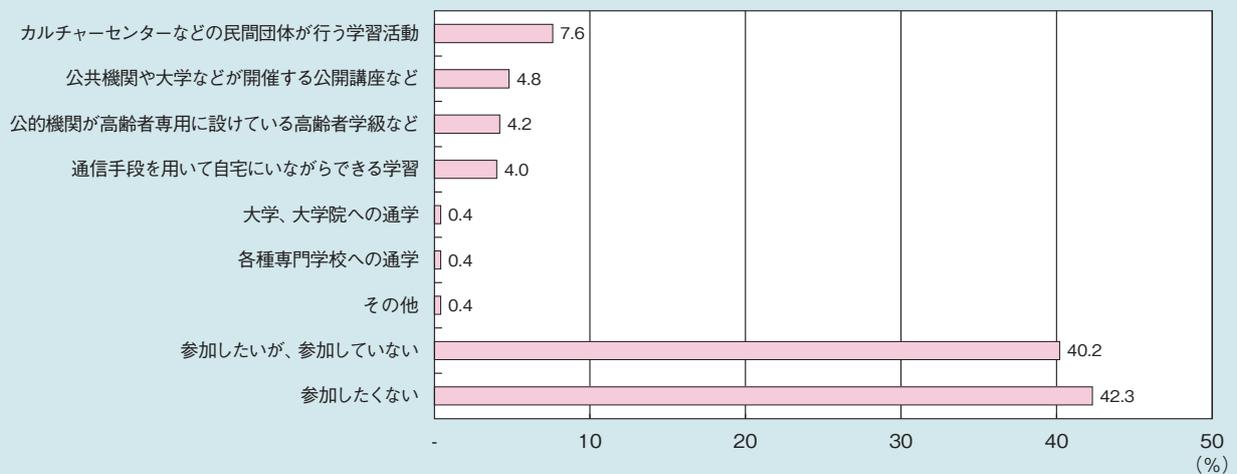
図1-2-24 高齢者のグループ活動への参加意向



○高齢者の学習活動

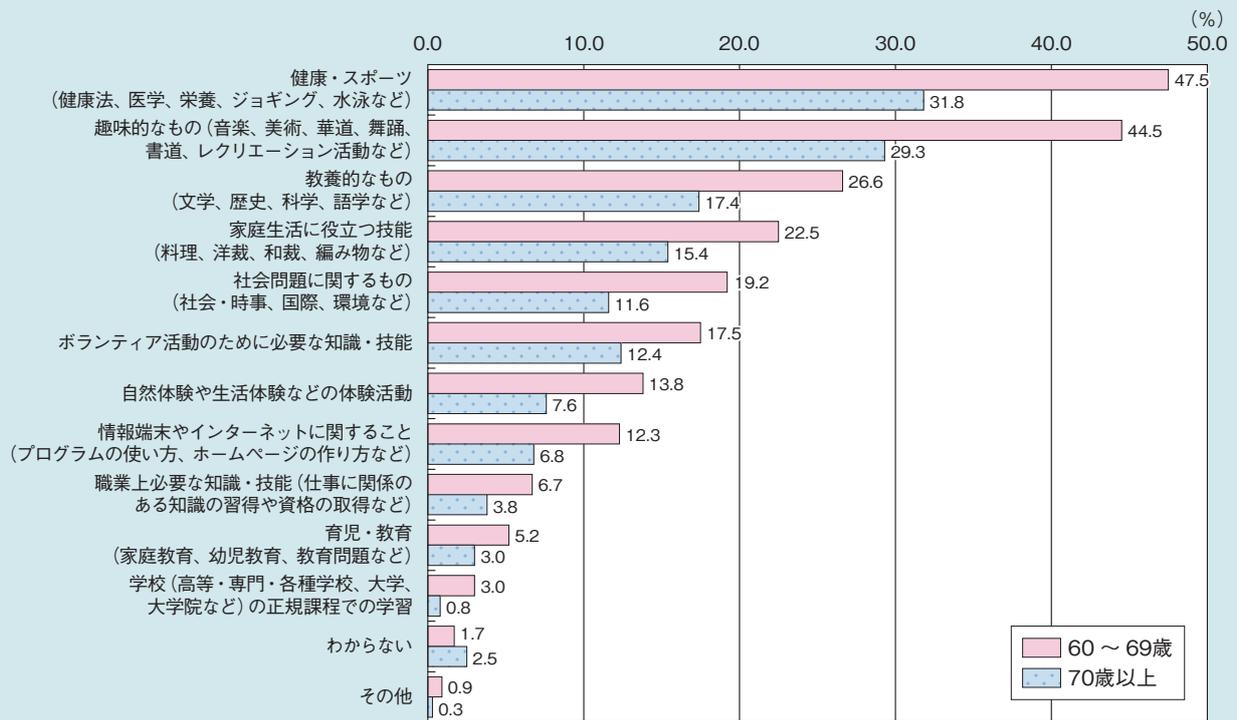
- ・ 高齢者の学習活動への参加状況についてみると、60歳以上で何らかの学習活動に参加している人の割合は17.4%となっている。活動内容をみると、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」が7.6%、「公共機関や大学などが開催する公開講座など」が4.8%などとなっている（図1-2-25）。
- ・ 行ってみたい生涯学習の内容は「健康・スポーツ」（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）が最も多く、60～69歳では47.5%、70歳以上では31.8%となっている（図1-2-26）。

図1-2-25 高齢者の学習活動への参加状況（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成20年）
 （注）対象は、全国60歳以上の男女

図1-2-26 行ってみたい生涯学習の内容（複数回答）



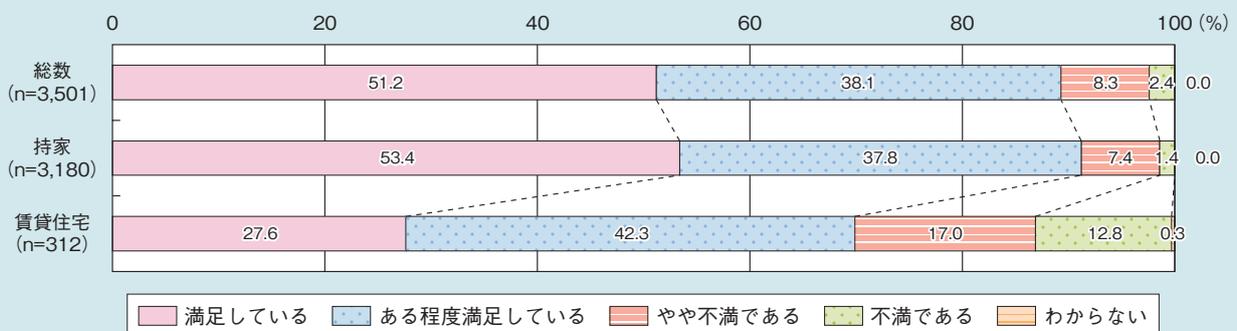
資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成24年)

6 高齢者の生活環境

○高齢者の9割は現在の住居に満足している

・60歳以上の高齢者に現在の住宅の満足度について聞いてみると、「満足」又は「ある程度満足」している人は総数で89.3%、持家で91.2%、賃貸住宅で69.9%となっている（図1-2-27）。

図1-2-27 現在の住居に関する満足度



資料：内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」(平成21年)

(注1) 対象は、全国60歳以上の男女

(注2) 持家と賃貸住宅の回答者数と総数の差 (n=9) は給与社宅等。